

とやま戦後遺暦（北日本新聞 朝刊 2005年1月3日～7月10日に掲載）

不戦の心若い世代に

1月3日（月） 北日本新聞 朝刊 P14～P15

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「火の手逃れ用水へ」（石積みで護岸された用水）星井町
- ・ 「焼い弾直撃物語る」（岡田さん宅の土蔵）大泉東町

読者の声と体験談

- ・ 「同じ過ち繰り返すな」  
長崎で被爆した 林 実さん（81歳）市・水橋中村町
- ・ 「空襲体験者 涙の再会」  
59年ぶりに同期会を開いた 藤田信也さん（71歳）市・小泉町
- ・ 「豊かさへの慣れ感じる」  
戦後と同じ今年遺暦を迎える 田辺嶽之さん（59歳）市・下新町
- ・ 「戦争の悲惨さ伝えたい」  
富山大空襲を語り継ぐ会代表幹事 田中悌夫さん（73歳）市・下新本町
- ・ 「必死さに欠ける現代」  
家業の薬店の企業化に取り組んだ 松井元太郎さん（78歳）市・本江町
- ・ 「忘れられない鉄の棺桶」  
人間魚雷「平生回天会」会長 山本修一さん（82歳）大島町赤井
- ・ 「知ってほしい島の生活」  
北方領土元島民 四十物としえさん（78歳）黒部市生地
- ・ 「極寒の地 地獄味わう」  
全国強制抑留者協会県支部長 山田秀三さん（87歳）南砺市井波

エッセー

- ・ 「今こそ平和の理念を」 作家 半藤 一利

1月23日（日） 北日本新聞 朝刊 P13

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「焼け残った門柱」（官立富山薬学専門学校の門柱）市・梅沢町

読者の声と体験談

- ・ 「恐怖よりもむなしさ覚え」 加藤孝文さん（68歳）高岡市
- ・ 「戦争の悲惨さ語り伝えたい」 米沢スズ子さん（75歳）滑川市
- ・ 「失うものの大きさ考えて」 福田裕子さん（69歳）高岡市
- ・ 「心を痛めた国民学校時代」 瀬戸久正さん（70歳）南砺市
- ・ 「忘れられぬ義弟の戦死」 森田良一さん（85歳）富山市
- ・ 「爆弾におびえ眠れぬ日々」 柴田豊二さん（66歳）南砺市

語り継ぐ

- ・ 「極寒の地で過酷作業」 行政書士 金尾善武さん（86歳）富山市

2月2日(水) 北日本新聞 朝刊 P 2 1

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「戦時下の暮らし物語る」(県民会館4階展示室) 富山市

読者の声と体験談

- ・ 「原爆後遺症に今も苦しむ妹」 朴木節子さん(79歳) 富山市
- ・ 「戦地への手紙代筆した母」 吉川文子さん(72歳) 魚津市
- ・ 「武器・軍隊では国は守れない」 金井繁男さん(83歳) 富山市
- ・ 「疎開で母と今生の別れに」 飯田朱美さん(69歳) 富山市
- ・ 「飢えが極まり雑草も食べた」 石岡政清さん(76歳) 南砺市
- ・ 「北方領土訪れ返還実現願う」 沢田みどりさん(62歳) 黒部市
- ・ 「大阪大空襲ですべて失う」 狩野四郎(68歳) 富山市
- ・ 「軍人の手紙の本心を思う」 江尻和久さん(47歳) 富山市

語り継ぐ

- ・ 「兄の戦死にむせび泣く」 無職 村上富美子さん(80歳) 富山市婦中

2月12日(土) 北日本新聞 朝刊 P 2 1

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「焼失免れた百貨店」(富山大和) 富山市

読者の声と体験談

- ・ 「空から焼夷弾火の海逃げる」 吉尾としえさん(71歳) 富山市
- ・ 「空襲の焼け跡 生き地獄見る」 大田芳枝さん(79歳) 富山市
- ・ 「終戦間近、突然父が会社に…」 米田芳枝さん(77歳) 入善町
- ・ 「勤労奉仕で田植え手伝う」 長谷川實さん(72歳) 富山市
- ・ 「トンネルが軍事用倉庫に」 砂川美智子さん(71歳) 小矢部市
- ・ 「子どものため働き続けた母」 佐伯喜代子さん(72歳) 立山町
- ・ 「“あのころ”を語り続けよう」 田中敏子(70歳) 福岡町

語り継ぐ

- ・ 「暗闇の島で耐え忍ぶ」 無職 浜田正三さん(82歳) 入善町

2月22日(火) 北日本新聞 朝刊 P 2 1

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「空襲で壊れた灯ろう」(爆風で傘が壊れた雪見灯ろう) 市・星井町

読者の声と体験談

- ・ 「補給の帰途に負傷兵を護送」 山岡幸三さん(86歳) 南砺市
- ・ 「苦難味わったシベリア抑留」 窪谷好信さん(85歳) 福岡町
- ・ 「焼夷弾くぐり上滝の実家へ」 水上ヨネさん(81歳) 富山市
- ・ 「空襲から60年今も心が痛む」 石黒富子さん(80歳) 富山市
- ・ 「大空襲の体験中学生に語る」 下村正行さん(74歳) 富山市
- ・ 「憲法九条は先人の遺産」 畑真理子さん(45歳) 南砺市

- ・ 「辺見さんの著書読み感動」 喜田キミさん（88歳）舟橋村  
語り継ぐ
- ・ 「学徒動員で仲間失う」 無職 河崎健治さん（76歳）富山市

3月10日（木） 北日本新聞 朝刊 P 29

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「焼い弾で欠けた釣り鐘」（1767年鑄造の大法寺の釣り鐘）市・梅沢町  
読者の声と体験談
- ・ 「忘れられない戦争の思い出」 宇枝房子さん（70歳）富山市
- ・ 「南海の島に眠る戦友たち」 上原好郎さん（77歳）富山市大沢野
- ・ 「飯ごうに手を突っ込んだ子」 谷川正一さん（80歳）富山市婦中
- ・ 「問われている日本の在り方」 林金子さん（63歳）高岡市
- ・ 「於保多神社の境内は火の海」 嶋田則義さん（74歳）富山市
- ・ 「満州時代と日朝関係思う」 野原義信さん（87歳）富山市婦中
- ・ 「風化させず語り伝えたい」 山本明さん（64歳）富山市  
語り継ぐ
- ・ 「仲間の断末魔 今も耳に」 無職 倉田外丸さん（87歳）砺波市

3月19日（土） 北日本新聞 朝刊 P 31

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「火炎で表面はく離の石碑」（応声寺の石碑）市・梅沢町  
読者の声と体験談
- ・ 「いきなり訓練 矛盾の1年半」 松木与一さん（86歳）宇奈月町
- ・ 「戦争なんか何ですの」 渋谷由子さん（69歳）高岡市
- ・ 「柿をほお張りつかの間休息」 金丸とみ子さん（70歳）立山町
- ・ 「焦土の富山で祖父母を捜す」 五十嵐睦子さん（73歳）富山市
- ・ 「富山湾一帯が真昼のように」 松本百代さん（72歳）魚津市
- ・ 「リングのない宝石が形見に」 吉見和子さん（70歳）富山市
- ・ 「脳裏を離れぬシベリア抑留」 山本祥作さん（81歳）高岡市  
語り継ぐ
- ・ 「生徒と一緒に砲弾鑄造」 無職 鎌谷又平さん（91歳）高岡市

4月1日（金） 北日本新聞 朝刊 P 29

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「空襲被害者の遺骨を置いた三重塔」（光巖寺の三重塔）市・五番町  
読者の声と体験談
- ・ 「戦争起こさぬ政治家選ぼう」 由水皆子さん（88歳）富山市
- ・ 「海軍志願の夢破れ造兵廠へ」 柚原豊治さん（78歳）富山市
- ・ 「帰らなかつたいとこたち」 寺田保さん（85歳）富山市

- ・ 「飛行兵志願し厳しい訓練」 本田信一さん（74歳）富山市
- ・ 「生活のために闇市稼業経験」 古市謙三さん（78歳）富山市
- ・ 「食糧難の時代必死で生きた」 戸田晶子さん（67歳）高岡市
- ・ 「残留孤児に心が痛む」 西村三夫さん（65歳）入善町

語り継ぐ

- ・ 「B29に重機関銃で応戦」 無職 福田善雄さん（82歳）富山市

4月10日（日） 北日本新聞 朝刊 P31

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「焼夷弾を浴びた沓脱石」（火炎跡が残る本江さん宅の沓脱石）市・清水町

読者の声と体験談

- ・ 「「死」の意味子らへ継承」 駒見富士子さん（75歳）富山市
- ・ 「命ささげた思い伝える」 小森正明さん（63歳）南砺市
- ・ 「思いつづれぬ戦時下の便り」 早瀬揚子さん（61歳）滑川市
- ・ 「夢はせた地で少年も犠牲に」 谷田正路さん（83歳）南砺市
- ・ 「焦土から逃れ遠い道を歩く」 姫野篤弘さん（70歳）富山市
- ・ 「疎開で別れた友から電話」 渡辺憲一さん（70歳）高岡市
- ・ 「帰国信じ満州生活耐え忍ぶ」 高瀬ゆり子さん（79歳）小矢部市

語り継ぐ

- ・ 「夫の帰り待つ不安な日々」 無職 大平キミ子さん（88歳）朝日町

4月20日（水） 北日本新聞 朝刊 P27

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「旧家土蔵から焼夷弾」（蜜田家土蔵）市・荒町

読者の声と体験談

- ・ 「海軍兵志願と敗戦の日」 梅島邦夫さん（73歳）南砺市
- ・ 「歴史繰り返されるのでは」 斉藤信一さん（70歳）南砺市
- ・ 「玉音放送聞き肩落とした父」 林はつ枝さん（83歳）富山市
- ・ 「集団疎開でひもじい思い」 広川芳子さん（70歳）入善町
- ・ 「戸を裏返して黒板代わりに」 谷村君子さん（71歳）南砺市
- ・ 「もっと母の話聞きたかった」 山田佐美子さん（60歳）砺波市
- ・ 「九死に一生シベリア抑留」 津嶋弘さん（80歳）砺波市
- ・ 「父親が戦死母子で歩む」 才川登美代さん（62歳）砺波市
- ・ 「小学1年生の勤労奉仕」 城方正夫さん（67歳）富山市

語り継ぐ

- ・ 「大空襲 必死で逃げた」 無職 山本善保さん（75歳）富山市

5月1日（日） 北日本新聞 朝刊 P31

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「空襲に耐えた妙国寺石堀」(妙国寺の石堀)市・梅沢町

読者の声と体験談

- ・ 「戦争中の話大切にしたい」 広田多美子さん(61歳)滑川市
- ・ 「敗戦後、満州で全財産を失う」折戸ヒデさん(85歳)富山市
- ・ 「空襲後、丸三日街をさまよう」 矢野周郎さん(72歳)高岡市
- ・ 「疎開先での悲しい思い出」 松井久好さん(69歳)小矢部市
- ・ 「耳をつんざくB29の爆音」 酒井尋子さん(77歳)立山町
- ・ 「伝えたい大和なでしこの心」 辻郁子さん(75歳)高岡市
- ・ 「イラク戦争空襲と重なる」 瀬川信子さん(71歳)富山市

語り継ぐ

- ・ 「時代に夢奪われた」 無職 堀みのるさん(80歳)新湊市

5月10日(火) 北日本新聞 朝刊 P15

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「県甲飛会活動に終止符」(旧海軍甲種飛行予科練生生存者の会)

読者の声と体験談

- ・ 「神社で毎朝竹やり訓練」 山口玉枝さん(82歳)氷見市
- ・ 「貧弱な武器でソ連と対抗」 黒瀬實清さん(80歳)富山市
- ・ 「必死の思いで満州から戻る」 酒井ユキ子さん(85歳)富山市
- ・ 「ヒイカのような兵隊」 末永三郎さん(83歳)富山市
- ・ 「空襲後の惨状脳裏を離れず」 東狐正雄さん(76歳)入善町
- ・ 「大きな苦しみ悲しみ味わう」 吉田光子さん(87歳)高岡市
- ・ 「舞鶴港で帰国者支援」 山崎君子さん(77歳)福岡町
- ・ 「焼夷弾よけ生き延びる」 高島美津子さん(77歳)立山町
- ・ 「これが地獄かただぼう然」 金キミさん(79歳)新湊市

語り継ぐ

- ・ 「玉音放送 信じられず」 農業 松原重忠さん(73歳 富山市)

5月20日(金) 北日本新聞 朝刊 P23

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「ほむらいろの空」(市・城北町前野さんの被災体験)富山大空襲語り継ぐビデオ

読者の声と体験談

- ・ 「結婚まもなく召集令状届く」 川辺由三さん(89歳)高岡市
- ・ 「暗かった空 昼のように」 吉岡あい子さん(81歳)新湊市
- ・ 「恐怖や悲惨さ語り継いで」 宮本聖子さん(55歳)富山市
- ・ 「焼夷弾降り市内は地獄絵」 柴草晃さん(73歳)富山市
- ・ 「九死に一生友と抱き合う」 太田秀雄さん(80歳)富山市
- ・ 「代用食食べ飢えしのぐ」 山崎澄江さん(77歳)高岡市
- ・ 「戦友会会員に苦難の記憶」 滝脇芳彦さん(76歳)富山市

語り継ぐ

- ・ 「爆弾不発 奇跡の生還」 無職 丹保重高さん（81歳）南砺市

6月1日（水） 北日本新聞 朝刊 P 3 1

富山大空襲のつめ跡

・ 「戦没者写真台帳」(県人戦没者約 15,000 人分収録)市・丸の内会館  
読者の声と体験談

- ・ 「魚雷の一撃で戦友が犠牲に」 藤木宗吉さん（82歳）富山市
- ・ 「ガダルカナル途上で空襲に」 田中勝造さん（86歳）入善町
- ・ 「真っ赤だった空襲の日の空」 竹岸昌子さん（63歳）氷見市
- ・ 「逃げてきた道 炎に包まれた」 吉野悦子さん（77歳）富山市
- ・ 「海軍航空隊で特攻訓練も」 道野安導さん（75歳）富山市
- ・ 「東京で火災 地獄に遭遇」 武田利雄さん（82歳）高岡市
- ・ 「倒れた焼死体あちこちに」 葛島まき子さん（77歳）富山市
- ・ 「昼夜を問わず鳴り響く警報」 斉藤富子さん（67歳）富山市
- ・ 「逃げる人に焼夷弾が直撃」 日南田秀昇さん（74歳）富山市

語り継ぐ

- ・ 「無謀だった蛸壺作戦」 農業 林清忠さん（87歳）富山市

6月10日（金） 北日本新聞 朝刊 P 2 7

富山大空襲のつめ跡

・ 「富山県忠霊塔」(県出身戦没者 28,748 柱を合葬)市・八ヶ山  
読者の声と体験談

- ・ 「空白な小学生時代の記憶」 藤樫明さん（69歳）富山市
- ・ 「父の戦死と弟の病死」 堀郁夫さん（64歳）富山市
- ・ 「親が守ってくれた私の命」 五十里喜美子さん（62歳）入善町
- ・ 「復員の兄の毛布で嫁ぐ」 貫江静子さん（78歳）富山市
- ・ 「沈没防ごうと艦内を右左」 桑名重孝さん（84歳）富山市
- ・ 「生きていることに感謝」 戸田幹雄さん（78歳）小矢部市
- ・ 「機銃掃射に必死の応戦」 寺本外輝さん（80歳）新湊市
- ・ 「未明の空襲で地獄を歩く」 斉田嘉晴さん（76歳）砺波市
- ・ 「引き上げ船でわいた安心感」 大野博さん（82歳）福岡町

語り継ぐ

- ・ 「母を奪った富山大空襲」 無職 笹倉正久さん（85歳）富山市

6月20日（月） 北日本新聞 朝刊 P 2 7

富山大空襲のつめ跡

・ 「空襲予告ピラ」(警告文、爆撃機の写真、空襲予定都市が印刷)  
読者の声と体験談

- ・ 「孫に伝えたい富山大空襲」 橋本清子さん（69歳）富山市
  - ・ 「焼け跡整理に無数の死体」 森田正能さん（76歳）高岡市
  - ・ 「よみがえるあの日あの時」 関伸一さん（78歳）砺波市
  - ・ 「一面火の海 布団が命救う」 佐藤進さん（70歳）富山市
  - ・ 「陛下の前方を運転する栄誉」 上嶋三郎さん（83歳）南砺市
  - ・ 「安置室で見た悲惨な光景」 谷代里さん（74歳）富山市
  - ・ 「身に染みる戦争の怖さ」 坂本君子さん（77歳）富山市
  - ・ 「抑留生活の中マラリア発病」 今村外男さん（80歳）高岡市
  - ・ 「戦地からの父の手紙に涙」 槻尾ふじいさん（55歳）小矢部市
  - ・ 「少年動員され満州で農作業」 島田直正さん（75歳）南砺市
- 語り継ぐ
- ・ 「中国から過酷な引き揚げ」 無職 吉田可祝さん（81歳）高岡市

6月27日（月） 北日本新聞 朝刊 P29

#### 富山大空襲のつめ跡

- ・ 「遺芳館」(戦死者たちの遺書などを展示) 県護国神社

#### 読者の声と体験談

- ・ 「今も心に残る焼け野原の街」 川口和香子さん（66歳）大門町
  - ・ 「布団かぶって焼夷弾避ける」 松村恵美子さん（71歳）富山市
  - ・ 「証明書必要な軍需工場休暇」 岩崎正孝さん（76歳）南砺市
  - ・ 「線路に沿って空襲を逃れる」 岡本利夫さん（74歳）富山市
  - ・ 「南海の孤島で捕虜生活1年」 中村四郎さん（83歳）富山市
  - ・ 「佐世保市は進駐軍が闊歩」 井田恵一さん（75歳）入善町
  - ・ 「南京の病院で傷病兵を看護」 荻生りんさん（87歳）富山市
  - ・ 「兄の復員姿待ち続けた母」 木村紀美子さん（73歳）高岡市
  - ・ 「飢えと極寒 死におびえる」 今堀武雄さん（82歳）砺波市
- 語り継ぐ
- ・ 「赤紫色の市街地に涙」 無職 清水正二さん（67歳）富山市

7月3日（日） 北日本新聞 朝刊 P31

#### 富山大空襲のつめ跡

- ・ 「戦災復興記念像」(昭和49年8月建立 通称・天女の像) 富山城址公園

#### 読者の声と体験談

- ・ 「戦後も続いた飢えへの恐れ」 岡田昭治さん（72歳）富山市
- ・ 「班長と歌った「湖畔の宿」」 森田清作さん（85歳）南砺市
- ・ 「特務艦「辰宮」出航時に空襲」 小松孝一さん（81歳）立山町
- ・ 「日本刀を腰に家を守った父」 柳野和子さん（73歳）小杉町
- ・ 「家族思いやる父からの手紙」 脇坂恵美子さん（73歳）滑川市
- ・ 「父の戦況映す「人生の記録」」 松田千恵子さん（55歳）砺波市

- ・ 「悲しみ刻んだ海軍旗の最期」 荒木光雄さん（74歳）南砺市
  - ・ 「女学校時代に竹やりの訓練」 紺谷千鶴子さん（76歳）新湊市
  - ・ 「真っ赤な空に敵機浮き彫り」 場家福明さん（68歳）富山市
  - ・ 「今も耳に残るB29のごう音」 西川宏子さん（77歳）砺波市
- 語り継ぐ

- ・ 「終戦直前に臨戦態勢」 無職 山田耕作さん（80歳）南砺市

7月10日（日） 北日本新聞 朝刊 P33

富山大空襲のつめ跡

- ・ 「県戦没者追悼式」（昭和38年から毎年8月15日に開催）県民会館
- 読者の声と体験談

- ・ 「ひと夏だけのワンピース」 浜辺百子さん（71歳）魚津市
- ・ 「ヤシ林の中行き交う弾丸」 紺谷勝造さん（84歳）富山市
- ・ 「出征見送る群衆の軍歌」 坂井直基さん（84歳）富山市
- ・ 「大空襲の後は地獄絵の様相」 長崎ミチ子さん（75歳）富山市
- ・ 「苦労重ねた母親に感謝」 金塚類子さん（68歳）黒部市
- ・ 「毎日鳴り響く警報サイレン」 野尻幹子さん（69歳）富山市
- ・ 「戦意高揚囂る三大軍国歌謡」 小松信久さん（76歳）氷見市
- ・ 「特攻の命令出ぬまま終戦」 松野為一さん（78歳）富山市
- ・ 「いまも忘れぬB29の爆音」 武川美那子さん（76歳）富山市
- ・ 「川につかり空襲避ける」 森勇さん（73歳）上市町
- ・ 「「必ず勝つ」と強調した先生」 野崎弘さん（72歳）魚津市
- ・ 「銃殺覚悟して部隊から離脱」 前田義一さん（82歳）南砺市

語り継ぐ

- ・ 「答辞で誓った「日本再建」」 農業 佐竹良之さん（74歳）富山市

証言とやま戦後遺暦（北日本新聞 朝刊 2005年7月19日～27日に掲載）

7月19日（火） 北日本新聞 朝刊 P1

- 「戦友の生きざま必ず描く」 齊藤清策さん（85歳）砺波市

7月20日（水） 北日本新聞 朝刊 P32

- 「平和への思い詠み続け」 丹保重高さん（81歳）南砺市

7月21日（木） 北日本新聞 朝刊 P28

- 「命の大切さ絵本で訴え」 前野時子さん（63歳）富山市

7月23日（土） 北日本新聞 朝刊 P23

- 「空襲の体験伝えたい」 田中悌夫さん（74歳）富山市

7月25日（日） 北日本新聞 朝刊 P30

- 「伝えることが追悼」 松野為一さん（78歳）富山市

7月26日（火） 北日本新聞 朝刊 P34

- 「神通川埋め尽くす遺体」 貴堂とみさん（71歳）富山市



7月27日(水) 北日本新聞 朝刊 P34

「『知らない世代』語りべに」 浅田陽子さん(30歳) 福井県武生市